

1. 社会・治安情勢

リオデジャネイロ州全域で拳銃、機関銃、手榴弾等を使用した殺人、強盗等の凶悪事件が引き続き多発している。特に、リオデジャネイロ市及び郊外のスラム街（ファヴェーラ）では麻薬密売組織間の抗争が継続しているほか、治安当局による麻薬密売組織対策活動において度々銃撃戦が発生し、流れ弾による被害者が発生している。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 州政府は凶悪犯罪対策に注力しており、殺人、強盗の発生数は2008年以降2012年まで一貫して減少していたが、2013年初頭頃から増加に転じ、最近では増加傾向が顕著になっている。

治安悪化の理由については、相次いで新設されたUPP（警察治安維持部隊）に多数の人員を配置したため、既存の警察署の人員不足が深刻化したことや、相次いで開催された国際的イベントの機会に大規模デモが発生し、対策のために警察官の不足が一層顕著になったことなどが指摘されているが、大規模デモが概ね収束した2013年9月以降に治安の悪化傾向はさらに顕著となっている。

邦人が多数居住する南部地区でも全域にわたって治安が悪化しており、特に強盗が目立つ。

2012年のリオ市の人口10万人当たりの犯罪発生率は、日本との比較で殺人が約23倍、強盗は約300倍であったが、2013年はこれを大きく上回る数値が発表されると思われる。

窃盗、詐欺、傷害等の罪種も引き続き増加傾向である。

リオ州公安研究所による、本年1月の犯罪統計は以下のとおり。（括弧内は前年同月比の増減数）

	リオ州	リオ市
殺人	496 (+99)	120 (+5)
強盗	13876 (+4900)	6991 (+2509)
（うち路上強盗）	6668 (+2316)	3308 (+1056)
窃盗	17284 (+1173)	9759 (+358)
強姦	547 (+33)	193 (+39)

(2) 邦人被害事案

(ア) 1月1日午前7時頃、コパカバーナの花火大会と年越しライブイベントに参加した邦人短期滞在者が、滞在先最寄りの地下鉄 Saens Pena 駅で下車し、帰宅する途中、背後から接近した自転車乗車の男に背中を強く押されて転

倒、頭部を地面にたたきつけて負傷した。救急車で搬送され、検査を受けたところ、軽傷であった。

- (イ) 1月1日午前11時頃、観光客がコパカバーナビーチの砂浜に高級ブランドバッグを置いたまま5分ほど水浴びをしていたところ、目を離していた間にバッグを盗まれた。
- (ウ) 1月3日午後1時30分頃、観光客2名がセントロ地区のカテドラル・メトロポリターナ教会を出た後に付近のチリ共和国大通り路上に座って休んでいたところ、それぞれの脇の路上に置いてあったバッグを盗まれた。被害時、1名はうとうとしており、もう一方はガイドブックを見ていたところ、近づいてきた若者2名が素早くバッグを持って走り去ったもの。
- (エ) 1月11日深夜（時刻不詳）、企業出張者が海岸にいたところ、若者グループに話しかけられ、バッグをひったくられた。バッグには旅券カード類、携帯電話在中。
- (オ) 1月18日午後1時頃、セントロ地区でバスに乗った観光客がリュックサックを座席に掛けておいたところ、コパカバーナで下車するまでの間にリュック内にあった携帯電話を盗まれた。
- (カ) 1月23日午前6時頃、サンパウロからのバスでリオのバスターミナルに到着した旅行者が、頭上の棚に置いてあったバッグを取り出そうとしたところ、気づかない間に持ち去られていた。
- (キ) 2月2日午後6時30分頃、カリオカ駅付近の路上で旅行者が6名前後の少年グループに囲まれ、ナイフを突きつけられた上顔面を殴られ、所持していたバッグを強奪された。
- (ク) 2月15日正午頃、コパカバーナから路線バスでコルコバードに向かった旅行者がバッグを座席横に掛けていたところ、気づかない間にバッグを開けられ、中にあったカメラを盗まれた。
- (ケ) 2月22日、旅行者がガレオン国際空港のATMで日本の銀行のキャッシュカードを使用したところ、その際に磁気情報が奪われたと見られ、同29日までに9回に亘って不正出金がなされた。
- (コ) ミナス州の大学の邦人留学生5名中2名が本年2月中にスキミング被害。いずれも邦銀のキャッシュカードの被害。被害場所の特定はできていない。
- (サ) 2月28日午後8時30分頃、女性旅行者がセントラル・ド・ブラジル駅付近路上でタクシーを探していたところ、13歳から16歳くらいの少年グループ5名が近づき、被害者が手に持っていたカメラとスマートフォンを素早く奪い取って逃走した。
- (シ) 3月1日午前3時頃、旅行者がコパカバーナ地区路上を散策中、若者4人に囲まれて金品を要求された。被害者が拒否したところ、犯人はナイフを突きつけて被害者に切りつけたところ、付近を巡回していた警察官が犯行を察知し、犯人は逃走した。被害者はかすり傷で、金品の被害なし。

- (ス) 3月1日午後7時頃、旅行者が地下鉄で移動中、ボタフォゴ駅で扉が開いた瞬間に、隣に立っていた女性が被害者のズボンのポケットにあったスマートフォンを素早くつかんで車外に逃走した。
- (セ) 3月1日午後7時頃、サンパウロからの長距離バスでバスターミナルに到着した女性旅行者が、ターミナル1階の地面に座っていたところ見知らぬ男にポルトガル語で話しかけられている間に、デジタル一眼レフカメラを盗まれた。
- (ソ) 3月2日午前4時頃、女性旅行者がセントラル・ド・ブラジル駅前のバス停付近を歩いていたところ、少年に英語で「駅を探しているのか」話しかけられて立ち止まったところ、バッグをひったくられた。
- (タ) 3月2日午後5時頃、観光客がノッサ・セニョーラ・デ・コパカバーナのレストランの屋外の座席で食事中、ホームレス風の男に話しかけられたので無視していたところ、隣の座席に掛けてあった鞆を気づかない間に盗まれた。鞆には所持金全額と旅券、スマートフォンが入っていた。
- (チ) 3月3日午前1時頃、旅行者がセントロ地区Av. Gomes FreireとRua do Senadoの交差点付近を歩いていたところ、近づいてきた20歳くらいの男にナイフを突きつけられ、現金、カメラ2台、スマートフォン等を強奪された。
- (ツ) 3月3日午後11時頃、旅行者がAv. Presidente Vargasでデジタル一眼レフカメラをひったくられたが、警戒中の警察官が犯人を取り押さえ、被害品は返還された。
- (テ) 3月4日(火)午前0時頃、旅行者3名がカーニバル会場から約3km離れた宿泊先のホテルに徒歩で戻る途中、セントロ地区ビスコンジ・デ・リオ・ブランコ通り(Rua Visconde de Rio Branco)でナイフを所持した5人組の若者グループに襲われ、パソコン、携帯電話等在中のリュックサックや財布、腕時計、カメラ等を強奪された。
- (ト) 3月4日午後6時頃、旅行者がセントロ地区のセントラル・ド・ブラジル駅前の広場で若者に話しかけられ、危険を感じて逃げようとする8名前後の少年少女が被害者を囲んで行く手を遮り、最初に話しかけてきた若者が被害者を突き倒してポケット内にあった財布と携帯電話を強奪した。財布がポケットから取り出しにくかったために犯人が腹を立て顔を数回殴打されたが、負傷はなかった。
- (ナ) 3月5日(水)午後2時頃、旅行者がボタフォゴ地区パウリーニョ・フェルナンデス通り(Rua Paulinho Fernandes)を散策中、リュックサックを歩道上に置いて休んでいたところ、4人の若者が駆け寄り、素早くリュックを奪い取って逃走した。リュックサックにはカメラ、ビデオカメラ、携帯電話、パソコン等在中。
- (ニ) 3月15日(土)午前6時20分頃、旅行者がレメ地区に近いコパカバーナ海岸の大通り歩道で写真を撮りながら歩いていたところ、背後から近づい

た男にカメラをひったくられた。

- (ヌ) 3月19日(水)午前、旅行者ガレオン国際空港からバスに乗車し、午前10時頃にポタフォゴ地区のバス停で下車するまでの間の車内で、バッグに入れてあったスマートフォンを盗まれた。被害者はバス内で居眠りしていたため犯行に気づかなかった。
- (ネ) 3月26日(水)午前10時30分頃、旅行者がコパカバーナ地区のアトランチカ大通り4000番地付近の歩道を散策していたところ、前方から接近してきた自転車乗車の若者2人のうち1名が、すれ違いざまに旅行者のネックレスをつかみ、引きちぎって逃走した。
- (ノ) 3月28日(金)午前1時頃、出張者がコパカバーナ地区ノッサ・セニョーラ・デ・コパカバーナ通りで4人組に囲まれ、財布と携帯電話を強奪された。
- (ハ) 3月29日(土)正午頃、出張者がイパネマ地区のカニング通り(Rua Canning)を散策していたところ、前方を歩いていた2人組が突然振り返って金品を要求し、携帯電話、現金、腕時計を強奪された。
- (ヒ) 3月30日(日)午前10時頃、旅行者が路線バスでコルコバード駅に向かう途中、車内で気づかない間にポシェットを開けられ、中から財布を盗まれた。

3. テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生は認知していない。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害は確認されていない。

2014年1月中にリオ州内で短時間誘拐31件(うちリオ市21件)、脅迫8948件(うちリオ市3427件)が発生しており、いずれも顕著な増加傾向を示している。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業所在地や在留邦人居住地区においても、治安悪化が体感できる水準に達しているため、管轄警察署に対して警戒強化を申し入れ、警察官の街頭配置増加等の対応を受けた。

以上